

# Ecology

環境のために、いま車に取り組むべき数々の課題を、  
クラウンセダンは、ひとつずつ着実に実行してきました。

トヨタは環境との調和を図った「トータルクリーン」の理念のもと、  
「開発・生産・使用・廃棄」すべての過程で、人と地球にやさしい車づくりを進めています。  
生産分野はもちろん、1998年には設計・開発分野において、自動車メーカーとしては国内ではじめてISO14001<sup>\*1</sup>の認証を取得。  
このマネジメントシステムに基づき、あらゆる角度から環境保全対策を実施しています。

地球温暖化を防ぐために  
[CO<sub>2</sub>削減]

温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の低減をめざして、精密な空燃比制御を実現する電子制御式LPG液体噴射方式=EFI-LPを採用した2.0L LPGエンジンを搭載しています。

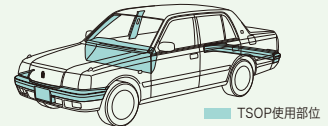
都市環境の  
クリーン化のために  
[排出ガスのクリーン化]

2.0L LPGエンジンの投入により、NO<sub>x</sub>(窒素酸化物)、NMHC(非メタン炭化水素)の排出を大幅に低減。「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得しています。



リサイクルと  
環境負荷物質削減のために  
[リサイクル性を向上]

クラウンセダンは、リサイクル性に優れた素材TSOP<sup>\*2</sup>をバンパーや内装樹脂部品に積極的に採用。また鉛、水銀、カドミウム、六価クロムの使用量を削減し、業界目標を達成しています。車としての役割を終えた後のことまで十分に配慮しています。



\*1. ISO14001:国際標準化機構(ISO)が1996年9月に制定した環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格。環境負荷を継続的に低減できるシステムを構築した企業、自治体の組織などに認証が与えられます。  
\*2. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer

## トヨタ クラウンセダンの環境仕様

車両仕様	車両型式		DBA-TSS10H	DBA-TSS10
	エンジン	型式	1TR-FPE	
環境情報	燃料消費率	総排気量 (L)	1.998	
		燃料	LPG	
		駆動方式	後輪駆動	
	排出ガス	変速機	4AT	
		燃料消費率(国土交通省審査値)*1 (km/L)	9.8	
		CO2排出量 (g/km)	171	
	排出ガス	主要燃費改善対策	可変バルブタイミング	
		認定レベル(国土交通省)	SU-LEV*2*3	
		認定レベル値 (g/km)	CO	1.15
	車外騒音		NMHC	0.013
		NOx	0.013	
冷媒の種類 (GWP値*4) / 使用量 (g)		加速騒音規制値: 76dB-A		
環境負荷物質の使用量		HFC-134a(1,430*5)/750		
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品	鉛	自工会自主目標達成(1996年時点の1/10以下)	
		水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止)	
		カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
	樹脂、ゴム部品への材料表示	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
	リサイクル材の使用	リサイクルPP	フロントバンパーロア、リヤバンパーロア、ラゲージサイドトリム	

\*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。  
\*2. JC08モード走行。  
\*3. 平成17年基準排出ガス75%低減レベル。  
\*4. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)  
\*5. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。